

部長就任にあたって



日本アメリカンフットボール審判協会 関東審判部 部長 阿部 博之

このたび歴史ある関東審判部の第 13 代部長を拝命いたしました。
微力ではありますが、引続き関東審判部、そして日本のアメリカンフットボールの
お役に立てるよう、努力していく所存です。

4 月 3 日の総会・春季クリニックでもお伝えしたとおり、就任にあたり 2 点を大切に取り組みたいと考えています。

1 つは「目的(パーパス)」です。

関東審判部会則第 2 条(目的)には、審判員の「育成および派遣」により、アメリカンフットボールの発展向上に寄与する、とあります。

諸先輩の時代から、教育担当理事をはじめ多くの部員の方々が、教育活動に尽力されてきました。これを継続していくため、新体制となった各理事・委員の活動に期待しています。そして試合会場へ派遣されて、オフィシエイティングすることが私達の使命です。

関東審判部の担当する試合は、社会人から学生、時には中高生など様々です。したがって、私たち部員も多様性(様々な意見・考え方)を尊重し、大切にしたいと考えています。

もう 1 つは「全員参加」ということです。

私は 2007 年に審判活動を開始したものの転勤による 2 年間の休部もあり、理事経験ありません。また総勢 250 名という関東審判部の運営は一人では困難です。このため、部員の皆さま一人ひとりの積極的な参加、「自分がやってみせる！」という意識が欠かせません。

近年、感染症などを契機に働き方や生活様式が変わってきました。関東審判部を取り巻く環境も今後大きく変化する可能性があります。こうした時代には、柔軟な発想、失敗を恐れない勇気、そして行動力が大切であるという価値観を、部員全員で共有したいと考えています。

最後に、部員の皆さまの引続きのご協力をお願いするとともに、益々の活躍を祈念して就任のご挨拶とさせていただきます。



退任のご挨拶

大野 和明

先般4月3日の総会において、任期満了により関東審判部長を退任いたしました。2009年度から13年間、部長という重責を担わせていただき、なんとか無事に職責を全うできたと思っています。これは、部員の皆さまによる審判活動へのご協力とご尽力の賜物であり、心より御礼申し上げます。とりわけ理事会のメンバーには、時に厳しいことも求めましたが、スムーズに部の運営をすすめていただき、深く感謝申し上げます。

また、日本アメリカンフットボール審判協会、日本アメリカンフットボール協会、日本学生アメリカンフットボール協会、関東学生アメリカンフットボール連盟、日本社会人アメリカンフットボール協会、関東高等学校アメリカンフットボール連盟の方々、そしてビル・レモニア氏、ビリー・ベケット氏、ロジャース・レディング氏にも常に関東審判部の活動を支えていただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

13年という時間は長くもあり短くもありと感じますが、いろいろなことがありました。ひとつひとつの出来事を思い出すと当時の記憶が新鮮によみがえります。とくに2016年ライスボウルの12人反則、2018年の反則タックルは、マスコミに大きく捉えられた結果、関東審判部が世間にさらけ出されました。大変苦しい局面もありましたが、各運営団体のご協力のもと、当時の理事会メンバーで最善の対応をすることができました。関東審判部として、歴史上、貴重な体験ができ、また未来に必ず活かせる出来事だったと信じています。

いつも申し上げている通り、審判は縁の下の力持ちとなり、いつも黒子でいることが重要です。選手、チーム、観客にとって、試合をいかに良い方向にマネジメントできるかがキーとなり、その結果、試合後に審判の存在が忘れられていることができれば最高です。

最後に部員の皆さまへのお願いです。「せっかく審判をするチャンスを選んだのだから、少しでも上手になってやろう!」という気持ちで審判技術の向上への取り組みを続けてください。試合の審判は、仕事のように毎日することはできないので、いかに自分の中で時間を創造してトレーニングを積めるかがポイントです。この13年間で関東審判部の教育資料はものすごく充実したので是非活用してください。そして、大好きなアメリカンフットボールにいつまでも携われるよう身体と心のケアと笑顔も忘れずにお過ごしください。

私も引続き、一審判員として頑張ります。これからも宜しくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

退任のご挨拶

阿部 仁

理事として運営に携わった10年を振り返ると、おつとめ?は大変でしたが、普段の仕事では出会えないようなリッチな人生経験を沢山させていただきました。その中には(大野前部長が言及されている)トラブル対応も含まれていますが、試練の時にいて誰一人として互いを批判することなく、フットボール仲間を再優先に迅速かつ的確な情報発信と情報共有がなされていました。この時の理事会の動きはまさに”When the going gets tough, tough gets going”というフットボーラーの姿を体現しており、今でも自分の中の危機管理のお手本となっています。これからは一部員として新理事・監事体制をサポートし、関東審判部をさらに盛り上げて行きたいと思います。ありがとうございました。

退任のご挨拶

田中淳夫

2010年に委嘱理事を拝命し12年間、理事として活動させていただきました。審判活動でも個人でもいろいろありましたが、皆様の、そして家族のサポートのおかげで、無事に理事の役目を終えることができました。ありがとうございました。

2010年はまだ白のニッカポッカと1インチのゼブラで、8人制クルーもインスタントリプレーもありませんでした。

新しいことに挑戦しつつ、5人制、6人制、7人制クルーにも対応していく、という活動領域の広さが関東審判部の大変なところであり、やりがいのあるところだと思います。

今後もフットボール発展のため、皆様と一緒に楽しい充実した時間を過して行きたいと思っています。

退任のご挨拶

増田直樹

理事を拝命してから10年、やっている時は長く感じましたが、終わってみるとあっという間でした。甘えた言い方をするならば、私なりに一生懸命従事させていただきました。

理事会を経験して思った事は、「本当に理事達は真剣に部の運営をなさっているんだなあ」という事です。我々は国内に於けるアメリカンフットボールの公式戦を任される公式審判員です。当然の事ですが、運営するには部内外に対して大きな責任を伴います。各事象に時間を掛けて(時にスピーディーに)対応する事は大変な作業です。その努力の上に成り立っている組織である事を改めて思い知った10年間でした。

これからは1部員として毎試合より真剣に臨み、アメフトの試合の質の向上に寄与していければ、と思います。拙い理事でしたが10年間ありがとうございました。

監事退任にあたって

田口眞行

理事9年、監事10年の19年間に審判部の運営に携わらせていただき、満期となり退任させていただきます。本当にありがとうございました。

任期の間に関東審判部として様々なことができましたが、大野部長のリーダーシップのもと、部員の皆様のご協力で乗り切ることができました。しかし、関東審判部は他地区の審判組織と違い独立した組織として活動してきましたが、それ故の課題もでてきています。新しい理事会は新たな若手メンバーも加わりスタートしました。阿部博之新部長のもと、新しい発想で若い力でアメリカンフットボールの発展、審判部の充実を図ってほしいと願っています。今後は微力ですが、運営に協力していきたいです。

監事任期満了退任にあたり

馬島 敦

10年の教育理事後、9年＋コロナ特別延期1年の10年間に亘り関東審判部監事職を拝命いたしました。理事会による部運営は時間的負担が非常に大きく、理事各々仕事や家庭への影響を避けられない現状です。しかし、諸先輩方の思いを継続し理事会が日本一いや世界一の審判組織を目指して多くの犠牲を払っている姿に誇りを感じざるを得ません。我々は日本のアメリカンフットボール発展に必要な人材を育成する組織として、継続し研鑽し進化しなければなりません。審判という技術集団の高みを目指して阿部博之新部長と新理事会に望みを託し、今後も出来得るサポートをして参りたいと思っております。部員の皆様、各委員会の皆様へ今までの御協力に感謝申し上げます、監事を退任いたします、ありがとうございました。

理事・監事担当分担一覧

阿部 博之	部長	インストラクタ/翻訳/アサメント
阿部 浩司	副部長	アサメント/安全/会計
中内 克行	教育・安全	インストラクタ/安全
渡邊 信	安全・教育	安全/インストラクタ
潮 俊之	運営・総務・組織	アサメント/リクルート
波田 哲二	総務	アサメント
大塚 泰宏	会計・総務	会計/総務
北 文彦	総務	アサメント/インストラクタ
七久保 裕哲	国際・教育	インストラクタ/安全
東郷 竜二	組織・会計	リクルート/インストラクタ/会計
(委嘱)川田 丈浩	教育・組織	翻訳/インストラクタ/リクルート
伊藤 義樹	監事	
大野 和明	監事	
根岸 作力	監事	

各委員会名簿

書記	中山徹也、野坂賢臣
ライスボウル実行委員	阿部浩司、伊藤義樹
SV	東俊、藪内直樹、田口眞行、馬島敦
技術部会	東俊、笹田英次、田口眞行、田中淳夫、中尾公一、馬島敦 宮島敦史、藪内直樹
アサメント委員会	國崎智明、野坂賢臣、宮島敦史
インストラクター委員会	東俊、阿部仁、岡村祐一郎、小関準、小松真之、季高充良 田口眞行、田中淳夫、種瀬和志、富田啓輔、馬島敦、藪内直樹
翻訳プロジェクト・チーム	東俊、阿部仁、奥居正道、国領昭典、小関準、鈴木登志夫 十河孝雄、田中淳夫、富田啓輔、野坂賢臣、藤井裕之 宮田應輝、宮田泰平、渡辺宏史
リクルート委員会	青木博、吉川政和、斉藤聡、遠藤太郎、藤原洋平、岡戸基泰 宮崎哲志、武田浩孝、籠田実、野崎太郎、榎本雄一、坂本数貴 大竹孝司、藤井裕之、野坂賢臣、難波衛、秋葉良一、辻琢磨
総務委員会	石原卓、内田太郎、遠藤太郎、岡戸基泰、武田浩孝、中山徹也、 野坂賢臣、増田直樹、吉川政和
安全委員会	中原光弘、中山徹也
国際委員会	阿部仁
会計委員会	鈴木治

